



あけましておめでとう！

2011年1月1日

## 今回のおすすめメニュー

すごい人、へんな人、ふしぎな人が  
日本にはいっぱい！

# 「アラマタ人物伝」

荒俣 宏 || 監修

講談社

【所蔵館】中央

【請求記号】281.0ア

ちょっとあじみ

日本はこんなにも人材の宝庫だったなんて！と嬉しくなる1冊。偉業を成し遂げたスゴイ人から変なことにこだわり続けたへんな人など、226人の日本人を分かりやすく、時にドラマティックに解説しています。

例えば、歴史の影の立役者、イケメンじゃないけどモテた豪傑、ライバルもピンチを救った江戸のアーティスト大名、小学校中退で東大の博士、日本初の

潜水艇事故の艇長が遺した言葉とは？ 沖縄からは、沖縄のために戦った“謝花 昇”、苦難のなかにもユーモアあふれる詩をかいた“山之口 獏”など、読んでいて時代や地域を越えた人々になんだか励まされることは間違いありません。

ちなみに、日本美術を守ったアメリカ人“フェノロサ”は、下記の『なぜ絵版師に〜』にも登場していますのでお見逃し無く！

明治の日本でドイツ人教師が活躍します！

## 『なぜ絵版師に

## 頼まなかったのか』

北森 鴻 || 著

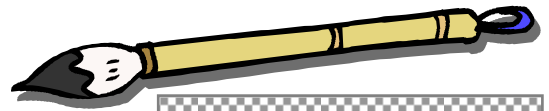
光文社

【所蔵館】石川

【請求記号】913.6キ

ちょっとあじみ

帝國大学教授で、日本を愛し、好奇心溢れるベルツ先生。弟子の冬馬を振り回しながら、様々な事件を解いていきます。収録された短編は5話。明治に入り日々変わり行く帝都で起こる事件が、くすっと笑わせながらも少しの切なさや当時の世相を伝えてくれます。



No image

